

東京電力福島第一原子力発電所の事故で何が起こったの？

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産研究・教育機構
	公開日: 2025-04-04
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014006

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



Q.

東京電力福島第一原子力発電所の
事故で何が起きたの？

A.

発電所の中の放射性物質が
外に出てしまいました。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)の地震と津波により、東京電力の福島第一原子力発電所が壊れてしまい、原子力発電所の中にあった放射性物質が外に出てしまいました。

ただし、幸いなことに、非常にたくさんの放射性物質が外にでていたのは2011年3月から4月にかけての2週間ほどでした。外に出てしまった放射性物質は海や川にも入り、魚や貝などの水産物を汚染しました。

これらの放射性物質が生き物にどのように取り込まれ、どうなるのか、水産研究・教育機構で調査・研究しました。

